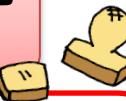




ケロちゃん通信 第114号

2026年1月



☆ 新年あけましておめでとうございます。

昨年中もいろいろなことがありました、皆様のご協力もあり、なんとか乗り越えてこれました。本当にありがとうございました。

☆ 今年はどんな年になるのでしょうか。大雪・大雨のない、夏は暑すぎない、地震のない、街や山で熊に出会わない、おいしいお米や農作物がたくさんとれ、戦争や争いごとのない年であってほしいです。

☆ 多くの薬で薬剤不足による出荷調整が続いており、ご迷惑をおかけしています。季節はずれや、新規の予期しない感染症の流行も予想されます。今年も地域の子供たちのために、スタッフ一同がんばりたいと思っておりますので、よろしくお願ひいたします。

☆ 例年より早く、11月からインフルエンザAの流行がみられ、まだインフルエンザワクチン接種も終わってない時期で、学級閉鎖なども多くされました。それらに混じって溶連菌やマイコプラズマ、RSなどの感染症も流行しています。年末年始も体調を崩さない様にお気をつけください。



あたごこどもクリニック

940-0038 長岡市琴平1丁目2-1 電話番号 0258-36-5810
<http://www.nagaoka-iryou-seikyou.jp/>

診療案内

・感染予防のため、発熱、かぜなどの急性疾患を主に診る一般外来と慢性疾患(感染性のない疾患や定期処方など)を診る慢性外来の診療時間を分けています。

	月	火	水	木	金	土
8:30	一般外来 (急性疾患)					
11:00		予防接種 健診 (1歳未満)				予防接種 (1歳以上) 慢性外来
11:45						
12:00						
13:30	発達外来					
14:00	予防接種 健診 (1歳未満)		予防接種 (1歳以上) 慢性外来			
15:00	一般外来 (急性疾患)					
17:30						

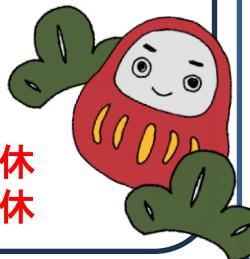
1・2月の診療予定

本間医師 1月9日午前

2月6日午前午後 13日午前



1月17日(土)午後外来 1月7日(水)代休
2月28日(土)午後外来 2月4日(水)代休



- ・一般診察枠内にも予防接種枠がありますので、ご利用下さい。
- ・スマイリーでは、急性疾患は「一般外来」から、慢性疾患・定期処方等は「慢性外来」からご予約下さい。
- ・もちろん、急を要するような場合にはすぐにご連絡下さい。
詳しくはホームページのお知らせをご覧下さい。

インフルエンザの薬物治療

抗インフルエンザ薬は、発熱期間を短縮させ、重症化を防ぐ効果が知られています。一方、インフルエンザは基礎疾患がある場合などを除き、多くの場合、自然治癒が期待できる感染症です。また日本人は欧米人と比べ、インフルエンザでけいれんを起こしたり後遺症を残しやすい体质をもっていることも知られています。総合的に判断し抗インフルエンザ薬を使用するかどうかは、主治医と相談の上、決めてください。

① タミフル 内服

ドライシロップ 1日2回 5日間

4mg/kg/日(1歳以上)

6mg/kg/日 (1歳未満)

カプセル 1日2回 5日間 (体重37.5Kg以上、成人)

② ゾフルーザ 1回内服

錠剤 顆粒

小児	10mg	1T	1包	1回	12歳未満	10-20Kg
	20mg	1T	2包	1回	12歳未満	20-40kg
	20mg	2T	4包	1回	12歳未満	40Kg以上

成人	20mg	2T	4包	1回	12歳以上、成人	
	20mg	4T	8包	1回	12歳以上、成人	80Kg以上

※小児での積極的な使用は推奨されていません。

③ イナビル 1回吸入

10歳未満 20mg

10歳以上 40mg

イナビル吸入懸濁用 (ネブライザー使用)

※1回で上手に吸入できる自信のない場合は
おすすめできません。



④ リレンザ 1日2回 5日間吸入

※イナビル、リレンザは乳糖が含まれるため、牛乳アレルギーのかたは原則、使用できません。イナビル吸入懸濁用には乳糖は含まれません。

⑤ ラピアクタ点滴

上記の内服や吸入ができない場合、重症な場合

インフルエンザの発症初期は、異常行動の可能性も指摘されているため、治療開始後少なくとも2日間は、こどもが一人にならないように、寝る場合にも添い寝するなどの配慮をお願いします。

【妊娠中・授乳中】

① タミフル、リレンザ、ゾフルーザは、治療上の有効性が高い場合は使用可能です。明らかな危険性は報告されていません。妊娠中にインフルエンザにかかった場合、普段より重症化するおそれがあり、またおなかの赤ちゃんにもよくないと報告されています。

② イナビルの安全性はまだ不明です。

【1歳未満の乳児】

① タミフル

1歳未満への使用が承認されており、日本でも厚生労働省が2016年11月に、タミフルの新生児と乳児への用法用量を追加し保険適応となりました。

用量について、1歳以上は1回2mg/kgですが1歳未満は3mg/kgになっています。

